

Dr.オリゼ[®]リディア

箱粒剤

フルピリミン…………… 2.0%
 プロベナゾール…………… 24.0%
 鉱物質微粉等…………… 74.0%

農林水産省登録 第 24239 号

毒性 普通物 有効年限 4 年

●特長

1. 殺菌成分の「プロベナゾール」が植物体の防御機構を活性化し、いもち病に対して高い防除効果を示します。
2. 殺虫成分「フルピリミン」は、昆虫の神経伝達系に作用し、麻痺を引き起こして殺虫効果を発揮します。既存の殺虫剤とは作用が異なります。
3. ミツバチを始め、ウツキコモリグモ、ヤゴなどの有用昆虫に影響はほとんどありません。

●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	使用方法 フルピリミンを含む 農薬の総使用回数	プロベナゾールを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	1kg/10a	は種時	1回	は種同時 施肥機を 用いて 土中施用す る。	3回以内 (直播では種時 又は移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ		移植時		側条施用		
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネヒメハモグリバエ イネカラバエ フタオビコヤガ イナゴ類	育苗箱 (30×60× 3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g	移植3日前 ～移植 当日		育苗箱の上 から均一に 散布する。	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)	

(令和2年2月26日現在の登録内容)

●使用上の注意事項

- は種時に使用する場合は、直播栽培に使用し、専用のは種同時施薬機を用いる。
- 移植時に使用する場合は、次の注意事項を守る。
 - ①専用の移植同時施薬機を用い、側条施用する。
 - ②移植後は湛水状態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
 - ③移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさける。
- 育苗箱へ処理する場合は、次の注意事項を守る。
 - ①育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とした後、十分灌水する。
 - ②稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさける。
 - ③軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用する。
 - ④処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
 - ⑤処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
 - ⑥移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさける。
 - ⑥本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。